生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	悪性リンパ腫患者における免疫細胞療法の予後及びバイオマーカーに関する後方視的研究		
1.研究の目的と方法	悪性リンパ腫と診断された患者さんにおいて、初回の薬物療法で奏効が得られないまたは奏効が得られても早期に再発した場合、その転帰は不良であることが報告されています。近年免疫細胞療法としてキメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T細胞療法と呼ばれます)や二重特異性抗体が開発され、再発抵抗性の悪性リンパ腫患者さんにおいて高い有効性及び予後の改善が報告されています。一方で本邦における実際の診療下での長期成績や治療の有効性に関わる因子に関しては十分に解明されていません。免疫細胞療法の治療成績（予後）および有効性に関わる因子（バイオマーカー）を知ることで患者さんの予後予測、治療戦略の構築に有益となる可能性が考えられます。今回免疫細胞療法の予後及びバイオマーカーに関し、カルテデータを用いて検討を行います。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	附属病院、第三病院、柏病院にて悪性リンパ腫と診断され、初回治療が抵抗性もしくは再発した患者さんのうち、2021年1月1日から2025年12月31日までの間に免疫細胞療法を行った患者さん。免疫細胞療法の適応範囲からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫もしくは濾胞性リンパ腫と診断された患者さんを対象とします。調査対象期間は診断日から2026年8月31日までとします。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査)、治療法、治療効果、転帰	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科
		氏名	瓜生　英樹
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	を実施する施設とその責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 8 月頃～	
【問い合わせ先】	機　関　名：東京慈恵会医科大学　内科学講座　腫瘍・血液内科 研究責任者：講師　瓜生　英樹（うりゅう　ひでき） 窓口担当者： ＜附属病院＞ 講師　瓜生　英樹（うりゅう　ひでき） 03-3433-1111（内線 5983） ＜西部医療センター＞ 助教　福島　僚子（ふくしま　りょうこ） 03-3480-1151(内線 3467) ＜柏病院＞ 助教　石井　敬大（いしい　けいた） 04-7164-1111（内線 2208） 対応時間： 平日 9：00～16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。